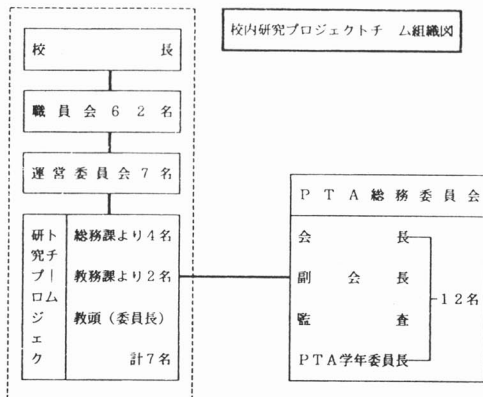


に基づき、全教職員の共通理解を得て、PTA方部会に関する研究を進めるため、次のような校内研究プロジェクトチームを作った。



(2) 研究プロジェクトチーム推進計画

PTA総務委員会において、できるだけ早くPTA方部会を組織したいとの意向を受け、研究プロジェクトチームとしては、次のような研究推進計画を作成し、研究を行った。

達成目標	研究内容	研究の方法及び留意点
5月下旬 ↓ 6月上旬	1. PTA方部会細則の制定	・他校の調査資料収集 ・本校PTA会則との関連 ・PTA方部会の目的
5月下旬 ↓ 6月上旬	2. PTA方部会地域割り	・生徒の出身中学校別の区分法 ・一方部の人数 ・方部会の名称
6月中旬	3. PTA方部会会員名簿の作成	・業者委託か本校編集か ・他県からの転入、転居の扱い
6月中旬	4. PTA方部会会長の委嘱	・PTA方部会会則による人選の方法 ・PTA総務委員会による委嘱法
7月上旬	5. PTA方部会顧問教師の割り当て	・希望調査の方法及び調整 ・校務分掌、教科、年齢、男女のバランス
7月中旬	6. PTA方部会発足の広報	・PTA調査広報委員会との連携
7月下旬	7. PTA方部会総会の日程	・PTA方部会経費の予算化 ・PTA総務委員会と方部PTA会長との合同会の開催での調整
7月下旬	8. PTA方部会総会の開催方法	・総会次第の方法 ・PTA役員及び学校側の対応

- (3) 方部会推進の諸会議（略）
- (4) 方部会細則と地域割り（略）
- (5) 研究及び諸会議を通じての主要問題解決の内容

ア. PTA方部会細則の制定については、方部会の目的と同時に、地域に根ざした学校づくりがかかっているだけに、短期間の研究であったが、PTA会則との関連に配慮して、分かりやすい細則づくりに努力した。

イ. PTA方部会の地域割りについては、PTA会員を中学校単位別に、地域性を考慮して13～16の方部区分にすることで研究に当たったが、諸会議等の検討を経て15方部となった。

ウ. PTA方部会会員名簿の作成の大事業については、当初業者委託を考えたが、経費節減の点から、研究プロジェクトチームによる昼夜兼行の労作により作成することができた。

エ. PTA方部会会長の選出委嘱については、PTA方部会活性化の鍵となるだけに、校長の意見及び長期間にわたるPTA総務委員会の協議により人選を行い委嘱の運びとなった。

オ. PTA方部会顧問教師を、どう割り振るかについては苦慮したが、希望調査を行うとともに、校務分掌、学年、教科、年齢、性別等のバランスを考慮して調整を行い、全教職員の協力が得られる割り当てができた。

- (6) PTA方部会の開催
6月の方部会会長と総務委員会との合